



こんにちは

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです！

2025年

9.14

No.1109



排外主義・外交人差別のない社会に

4月から始めたリコーダーですが、私は6月にソプラノからアルトに転向し、猛訓練してきました。アルトリコーダーも、子どもが中学校の時に使っていたものです。でも、指の使い方がソプラノとアルトでは全く違うので、泣きそうになる時もしばしばありましたが、少しだけ吹けるようになってきました。

このリコーダー同好会は『どれみふぁどん』といいます。30年以上も前に、勤医協苦小牧病院の初代医院長故高畑直司先生がつくったサークルで、現在は宮崎有広名誉委員長がリーダです。そんな由緒ある、しかも高度なテクニックのメンバーが揃ったサークルですが、宮崎名誉委員長に

「大歓迎ですよ」と入れていただきました。

なんと、9月21（日）に行われる勤医協苦小牧病院の『健康まつり』での発表会に、私も参加させてもらうことになりました。頑張りますので、機会がありましたら聞きに来てください。

ところで、新聞報道で全国知事会が『外国人の受け入れと多文化共生実現に向けた提言』と『青森宣言』を発表したとありました。『提言』は7月23日、『宣言』は24日。参議院選挙投票日（20日）の直後です。

『提言』には、「国は外国人を労働者とみているが、地方自治体から見れば日本人と同じ“生活者”であり、“地域住民”である。（中略）全国知事会では、外国人の受け入れと多文化共生社会の実現に国が責任を持って取り組むよう、強く要請する」との内容です。

さらに『青森宣言』は、「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生を目指す我々47人の知事がこの場に集い、対話の中で日本の未来を拓くに相応しい舞台となった」とあり、「民主政治を脅かす不確かさで根拠のない情報から国民を守る」ことなどを求めています。

奈良県知事は「インターネット上では、外国人に対する事実に基づかない言説が出ており、不当な差別や排外主義にならないかという懸念がある。若者を中心に漠然とした不安があり、早期に払拭する施策を打っていかねば大きな政治問題、社会問題になる」と述べています。その通りですね。

苦小牧でも『多文化共生指針』を作成しており、私もその推進の立場で取り組みたいと思います。